

平成17年度事業報告について
(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

概要

尾瀬の優れた自然環境の保護と適正な利用を図るため、利用者等を対象に、利用マナーの啓発、自然への理解を深める解説活動等を実施するとともに、荒廃湿原の植生復元、ビジターセンター等施設の維持管理、国立公園利用適正化、ツキノワグマ対策事業を受託・実施した。

また、関係機関・団体が一堂に会して尾瀬について意見交換を行う尾瀬サミット2005を開催したほか、尾瀬を含む湿原保護に関する学術研究を奨励するため、尾瀬賞を授与した。

実施事業

1 利用者啓発事業

(1) 入山者啓発事業

入山口における案内・啓発

尾瀬の環境美化や利用者のマナー向上を図るため、入山口(鳩待峠口・沼山峠口・大清水口)において、尾瀬ボランティアの協力を得て入山者への案内・啓発を実施するとともに、関係機関・団体と連携してごみ持ち帰り運動を実施した。

また、入山者の事故を防止するため、軽装者に対し鳩待峠口で軽登山靴を貸し出した。

尾瀬ボランティアの活動支援

尾瀬ボランティア(平成17年4月1日現在登録者数:360名)による入山口啓発、美化清掃活動及び植生保護作業等をコーディネートした。

また、インタープリテーション活動の充実とお話しボランティアなどの資質の向上を図るため、現地研修を含めたボランティア講座を開催した。

ア 入山口啓発活動

利用マナーや現地状況の説明、靴底の種子落とし指導、軽装者への注意喚起 等

実施時期	5/21 ~ 6/26	7/16 ~ 7/31	9/17 ~ 10/9	計
鳩待峠	88人	58人	54人	200人
沼山峠	19人	27人	20人	66人
大清水	10人	8人	7人	25人
合計	117人	93人	81人	291人

イ 至仏山東面登山道周辺植生保護

・踏み込み防止柵設置 6月25日 撤去 10月11日

ウ お話しボランティア(スポット解説活動)

実施時期	5/27 ~ 6/24	7/11 ~ 8/26	9/16 ~ 10/7	計 (19日間)
	6日間	9日間	4日間	
尾瀬ヶ原地区	16人	29人	7人	52人
尾瀬沼地区	4人	10人	7人	21人
合計	20人	39人	14人	73人

エ 横田代地区荒廃地植生復元作業

9月14日

オ 2005ありがとう尾瀬清掃活動

10月10日

カ ボランティア研修

- ・ボランティア講座 6月28、29日
- ・インタープリテーション研修 9月2日～4日

キ その他

尾瀬での自主ボランティア活動、事務局での事務ボランティア、ツアーパンフ収集、身近な地域でのボランティア活動等

尾瀬自然解説ガイド事業

ア 尾瀬ガイドネットワーク事業

尾瀬をフィールドとするガイド事業者をネットワーク化し、相互協力、ガイド利用の促進、一定レベルの知識や技術を有するガイド育成を図るため、意見交換を実施した。

- ・定例会 12月21日 東京 TKP 虎ノ門会議室 13名出席

イ 尾瀬自然解説ガイド事業

尾瀬ヶ原及び尾瀬沼において、尾瀬ボランティアの一部の方を尾瀬自然解説ガイドとして、申込みに応じ有料で自然解説ガイド事業を実施した。

- ・ガイド登録者数 23名（尾瀬ヶ原地区14名、尾瀬沼地区9名）
- ・活動実績 21回（127人をガイド）

(2) 自然解説事業

自然解説活動の実施

尾瀬山の鼻及び尾瀬沼両ビジターセンターにおいて、自然観察会やスライドショーなどを実施した。

ア 尾瀬山の鼻ビジターセンター

・自然観察会	実施回数	108回	参加者	785人
・スライドショー	実施回数	59回	参加者	1,695人
・ハイビジョン上映	実施回数	14回	参加者	187人
・団体レクチャー	実施回数	22回	参加者	700人

イ 尾瀬沼ビジターセンター

・自然観察会	実施回数	123回	参加者	959人
・スライドショー	実施回数	91回	参加者	2,984人
・マルチスライド上映	実施回数	1,284回	参加者	8,684人

ネイチャースクールの開催

尾瀬及び周辺地域における自然と人との関わりを考える場として、一般の人々を対象にしたネイチャースクール（第9回）を開催した。

- ・テーマ ネイチャースクール2005 in 魚沼・尾瀬
～ 万年雪と銀山・尾瀬探索～
- ・時期 8月6日～8日
- ・参加者 19人

(3) 指導者養成事業

指導者の養成

自然解説活動の充実と職員の資質向上を図るため、自然解説指導者研修や環境教育ミーティング（関東）等に職員を派遣した。

新規職員等導入研修

職員の資質向上と円滑な業務運営を図るため、新規職員等を対象に、国立公園制度や尾瀬の概況、インタープリテーション技法、接客マナー等の研修を実施した。

救急法研修

尾瀬での傷病者対応に必要な救急の知識・技術を習得するため、MFAの基礎コースを受講するとともに、AEDの取扱いを習得した。

(4) 啓発PR事業

第7回「尾瀬フォーラム」の開催

尾瀬の自然や財団活動に対する一般の人々の理解を深めるために開催した。

- ・開催日 12月8日
- ・開催場所 高崎シティギャラリー・コアホール
- ・内容 ミニレクチャー「今シーズンの尾瀬」

尾瀬山の鼻ビジターセンター所長 笹原 宗利

講演「みんなの尾瀬をみんなでまもる」

～国立公園尾瀬における自然保護活動～

東京電力㈱用地部 竹内 純子

- ・参加人員 150名

第10回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催

福島、前橋、新潟の各NHK放送局と共催し、尾瀬の「自然」、「動植物」、「人物」、「保護」をテーマとしたフォトコンテストを実施するとともに、入選作品や財団パネルの展示、スライドレクチャーを内容とした写真展を各地で開催し、尾瀬の自然保護について普及啓発した。

- ・コンテスト 応募作品数 778点 入選数 50点
- ・写真展 12月 8日～12月14日 (群馬県)高崎シティギャラリー
12月17日 (東京都)有楽町朝日ホール
1月10日～ 1月16日 (群馬県)県庁県民ホール
2月 1日～ 2月 6日 (福島県)うすい百貨店
3月 2日～ 3月15日 (新潟県)柏崎ソフィアセンター

啓発パンフレットの配布

利用マナーの向上、尾瀬の案内、自然解説等に資するため、セルフガイドなどを配布したほか、尾瀬地域交通対策パンフレット(60,600部)を作成して、関係機関や一般に配布した。

各種イベントにおける尾瀬保護と適正利用の啓発

尾瀬の保護と適正利用について一般の人々の理解を深めるため、関係機関が開催する各種イベント等の会場内に「尾瀬コーナー」を設け、利用マナーの向上と平日利用、入山口分散化等の呼びかけを行った。

- ・第7回ぐんま環境・森林フェスティバル 10月 2日 群馬県庁
- ・尾瀬国体開会式 2月19日 片品村

2 環境保全事業

(1) 植生復元事業

環境省、福島県及び群馬県からの委託により、入山者の踏み込み等により植生が荒廃又は裸地化した湿原の植生を復元・保護する作業を実施した。

- ・尾瀬沼地区及び尾瀬ヶ原地区の保護柵設置等
- ・至仏山東面登山道沿いの踏み込み防止柵設置等
- ・横田代植生復元作業
- ・沼尻植生復元作業
- ・見晴植生復元作業

(2) 至仏山保全対策

- ・至仏山保全緊急対策会議

登山道周辺の植生の荒廃が深刻な状況となっている至仏山について、関係機関と有識者による会議を開催して、植生保護と利用の適正化に向けた対策の検討を行った。

- ・至仏山気象観測業務

至仏山保全対策に資するため、至仏山の気象に関する基礎データを収集した。

3 施設管理事業

(1) 施設維持管理事業

ビジターセンターの管理運営等

ア 環境省尾瀬沼ビジターセンターの管理運営

開館期間 5月15日～10月23日 162日間

イ 群馬県尾瀬山の鼻ビジターセンター管理運営等

開館期間 5月14日～10月23日 163日間

公衆トイレの維持管理

ア 尾瀬沼地区公衆便所（環境省設置）清掃等

イ 群馬県尾瀬地区山の鼻・竜宮公衆トイレ（群馬県設置）維持管理・清掃等

(2) 利用者対策事業

尾瀬沼及び尾瀬山の鼻の両ビジターセンター内に危険箇所などの掲示を行った。

4 調査研究事業

国立公園利用適正化推進事業

環境省からの委託により、尾瀬の貴重で繊細な自然環境を将来にわたり保全していくために平成11年度に構築した国立公園利用適正化システムを運用し、改善・充実を図るとともに、野生動物との共存について検討を行った。

(1) 利用調整推進事業

ア 事業内容の検討及び意向・実態調査

「尾瀬地域利用適正化手法検討会議」、また同「幹事会」を各2回開催し、利用（混雑）状況や開花状況等の情報提供、1グループの人数規模、団体グループの自然ガイド利用の推奨方法などの検討を行った。

また、ツアー会社の意向や尾瀬利用の実態調査（利用者等の意向調査、団体ツアー実態調査等）、ガイド事業者への聞き取り調査を行った。

イ 普及啓発

「尾瀬トレッキングガイド」等の改訂・増刷を行い、各入山口やビジターセンターなど尾瀬地域内外において配布し、啓発活動を行った。

また、現地情報を提供するため、FAXサービス（尾瀬各山小屋、観光協会、登山用品店等）やウェブ公開を行ったほか、「尾瀬トレッキングガイド冊子版」をウェブ掲載した。

ウ サイン計画の策定

「検討会議」での検討を踏まえて、安全対策推進事業の歩道管理システムから得られた調査を分析し、案内標識類の整備状況について問題点の抽出と整理を行った。

エ 生態系からみた収容力の予備調査

生態系に関する研究報告を把握・収集・整理し、多岐にわたる研究を横断的に検索するシステムを構築した。

(2) 安全対策推進事業

ア ツキノワグマによる危険回避対策の実施

「尾瀬山ノ鼻地区ツキノワグマ対策会議」を2回開催し、危機回避マニュアルを運用するため、関係者間の役割分担を行うとともにクマ対策協力呼びかけのチラシを作成・配布した。

また、利用者向けのクマ注意リーフレットを継続して配布した。

さらに、過去に2度事故が起きたヨシッポリ田代での再発防止のため、「尾瀬ヨシッ堀田代地区ツキノワグマ対策連絡会議」を2回開催し対策を検討した。

イ ツキノワグマ生息状況調査の実施

ツキノワグマの生息調査手法を検討するための予備調査を実施するとともに、尾瀬ヶ原での定点観測を実施した。

ウ 遭難事故対応体制の整理・検証・改善

尾瀬ヶ原地区、尾瀬沼地区および燧裏地区の遭難事故対応体制の現状について聞き取り調査と整理を行った。

エ 歩道管理システムの運用

16年度構築した歩道データベース（歩道・看板・ベンチ等の状況）である「歩道管理システム」に調査データの入力を行い、システムの補完を行った。

また、尾瀬地域の歩道管理者へ歩道システムの運用方法についてアンケート調査を実施し、改善内容の抽出を行った。

(3) 尾瀬ガイダンスの実施

利用者のマナー向上や利用の分散化を図るため、環境省等関係機関・団体と連携して、旅行会社や出版社等を対象としたガイダンスを開催し、尾瀬の現状と適切な利用方法を説明するとともに、協力を呼びかけた。

・東京都内 12月21日 (社)日本旅行業協会研修室 40社53名参加

(4) 事業内容の評価

本年度の実施事業について、平成16年度に作成された評価シートを利用し、評価をとりまとめた。

5 顕彰事業

湿原を対象とした学術研究の進展を図ることを目的として、第9回尾瀬賞の募集と選考を行

った。

尾瀬賞選考委員会

- ・ 12月 4日 第9回尾瀬賞選考方法について
- ・ 2月11日 第9回尾瀬賞受賞候補者の選考について

尾瀬賞運営委員会

- ・ 10月15日 選考委員の改選、運営委員の上限人数の改正案ほかについて
- ・ 2月18日 第9回受賞者候補者の決定及び第10回尾瀬賞の募集について

受賞者 (財)ホシザキグリーン財団
研究員 林^{まさかず}成多 氏

受賞研究テーマ 「東アジア産ネクイハムシ亜科の分類学的研究および化石記録から探る日本列島のネクイハムシ相の形成過程」

6 友の会事業

各種イベントや財団ホームページを通じて会員募集を行うとともに、関係機関や団体に対する加入促進を行った。

会員に対しては、定期的に会報を発行し、尾瀬に関する各種情報の提供を行った。

- | | | |
|---------|---------|------------|
| ・平成14年度 | 賛助会員17社 | 個人会員1,475人 |
| ・平成15年度 | 賛助会員20社 | 個人会員1,617人 |
| ・平成16年度 | 賛助会員19社 | 個人会員1,615人 |
| ・平成17年度 | 賛助会員28社 | 個人会員1,646人 |

7 財団設立10周年記念事業

10周年を記念し、次の事業を実施した。

(1) 記念シンポジウムの開催

「尾瀬の“これまで”と“これから”を考える」と題したシンポジウムを開催し、特別表彰、基調講演、スライドトーク及びパネルディスカッションを行うとともに、ラムサール条約湿地登録認定証が伝達された。

- ・日 時 12月17日 午後1時～5時
- ・会 場 有楽町朝日ホール（東京都）
- ・参加者 約600名

(2) 記念誌の発行

財団設立の経緯や10年間の取組みなどをまとめた冊子を作成し、関係者に配付した。
作成部数 400部

8 財団の運営

財団の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会及び評議員会のほか、尾瀬サミット、企画運営委員会等を開催し、尾瀬及び財団に関する諸課題について意見交換等を行った。

(1) 理事会、評議員会の開催

理事会

ア 第21回理事会

- ・日 時 6月17日 午後1時30分～2時40分
- ・会 場 都道府県会館（東京都）401会議室

- ・議 事（議案）
 - 1 平成16年度事業報告について
 - 2 平成16年度決算について
 - 3 基本財産への繰り入れ及び管理について
 - 4 常務理事の選任について
 - 5 評議員の任期満了に伴う改選について
 - 6 尾瀬賞運営委員会委員の任期満了に伴う改選及び委員長の選任について

イ 第22回理事会

- ・日 時 3月27日 午後3時～4時10分
- ・会 場 都道府県会館（東京都）401会議室
- ・議 事（議案）
 - 1 平成17年度事業計画の変更について
 - 2 平成17年度収支予算の変更について
 - 3 基本財産への繰り入れについて
 - 4 平成18年度事業計画について
 - 5 平成18年度収支予算について
 - 6 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
 - 7 尾瀬賞運営要綱の一部改正について
 - 8 尾瀬賞運営委員会委員長の死去に伴う後任委員長について
 - 9 事務局組織規程の一部改正について
 - 10 友の会規程の制定について
 - 11 尾瀬ボランティア規程の制定について

評議員会

ア 第21回評議員会

- ・日 時 6月17日 午前10時30分～12時15分
- ・会 場 都道府県会館（東京都）401会議室
- ・議 事（議案）
 - 1 平成16年度事業報告について
 - 2 平成16年度決算について
 - 3 基本財産への繰り入れ及び管理について
 - 4 役員の辞任に伴う後任役員の選任について

イ 第22回評議員会

- ・日 時 3月27日 午後1時00分～2時45分
- ・会 場 都道府県会館（東京都）401会議室
- ・議 事（議案）
 - 1 平成17年度事業計画の変更について
 - 2 平成17年度収支予算の変更について
 - 3 基本財産への繰り入れについて
 - 4 平成18年度事業計画について
 - 5 平成18年度収支予算について
 - 6 役員の辞任等に伴う後任役員の選任について
 - 7 尾瀬賞運営要綱の一部改正について

- 8 尾瀬賞運営委員会委員長の死去に伴う後任委員長について
- 9 事務局組織規程の一部改正について
- 10 友の会規程の制定について
- 11 尾瀬ボランティア規程の制定について

(2) 尾瀬サミット2005の開催

- ・日 時 8月18日、19日
- ・会 場 群馬県片品村
- ・テーマ 「尾瀬の郷からのメッセージ」

(3) 企画運営委員会の開催

第9回企画運営委員会

- ・日 時 3月13日 午後3時30分～5時
- ・会 場 都道府県会館（東京都）407会議室
- ・議 事
 - 1 尾瀬の利用のあり方について
 - 2 今後の尾瀬ボランティアのあり方について
 - 3 尾瀬保護財団「友の会」について

(4) 尾瀬地域関係者連絡会議の開催

第5回会議

- ・日 時 4月21日 午後1時30分～4時15分
- ・会 場 都道府県会館（東京都）409会議室
- ・議 事
 - 1 平成17年度の主要事業等について
 - 2 当面の課題、懸案事項等について

第6回会議

- ・日 時 11月17日 午前10時～12時
- ・会 場 オフィス東京（東京都）会議室
- ・議 事
 - 1 尾瀬地域関係者連絡会議設置要綱の改正について
 - 2 平成17年度の主要事業等について
 - 3 平成18年度に予定している事業等について

9 物品の販売（特別会計）

財団事業の財源確保と自然環境保全の重要性をPRするため、尾瀬山の鼻及び尾瀬沼両ビジターセンターを中心に尾瀬に関する書籍、地図及び絵はがき等の販売を行ったほか、「わたしの尾瀬」フォトコンテスト入選作品を活用した卓上カレンダーや、群馬県作成の自然環境カレンダーなどの販売を行った。

10 要望活動

平成17年6月28日財団小寺理事長が、日光国立公園の名称変更の実現に向けて、環境省等に対する要望活動を実施した。